

安全データシート

1. 化学品及び会社情報 5

化学品の名称 : MIC ナメクジ退治
整理番号 : AGA10703Ja_01

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 工業用
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

会社情報

会社名称 : 三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
住所 : 東京都中央区日本橋一丁目 19 番 1 号
担当部門 : 国内マーケティング部
電話番号 : 03-5290-2740
FAX 番号 : 03-3231-1176

2. 危険有害性の要約

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
(P308+P313)

保管 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。(P403+P233)

廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

他の危険有害性

GHS で扱われない他の危険有害性 : 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 燐酸第二鉄混合物

| 名前 | 濃度 (%) | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|----------|--------|-----|----------|--------|------------|
| | | | 化審法番号 | 安衛法番号 | |
| 燐酸第二鉄水和物 | 0.98 | - | (1)-358 | 既存化学物質 | 10045-86-0 |
| 穀粉等 | 99.02 | | | | |

4. 応急措置

応急措置

| | |
|-----------|--|
| 応急措置 一般 | : 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。 |
| 吸入した場合 | : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 皮膚は多量の水で洗浄する。 汚染された衣類を脱ぐこと。 |
| 眼に入った場合 | : 予防措置として眼を水ですすぐ。 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 飲み込んだ場合 | : 気分が悪いときは医師に連絡すること。 |

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

| | |
|-----------------|---|
| 症状/損傷 吸入した場合 | : 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。 ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。 |
| 症状/損傷 皮膚に付着した場合 | : 通常の条件下では特に無し。 粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。 |
| 症状/損傷 眼に入った場合 | : 通常の条件下では特に無し。 本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。 |
| 症状/損傷 飲み込んだ場合 | : 通常の条件下では特に無し。 |

医師に対する特別な注意事項

| | |
|-------------------|---------------|
| その他の医学的アドバイスまたは治療 | : 対症的に治療すること。 |
|-------------------|---------------|

5. 火災時の措置

| | |
|----------------|--|
| 適切な消火剤 | : 水噴霧 乾燥粉末消火剤 泡消火剤 二酸化炭素 |
| 使ってはならない消火剤 | : なし |
| 火災時の危険有害性分解生成物 | : 有毒な煙を放出する可能性がある。 |
| 消火方法 | : 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。 |
| 消火時の保護具 | : 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。 |

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

| | |
|-------|--|
| 一般的措置 | : 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。 |
|-------|--|

非緊急対応者

- 保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置 : 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置 : 不要な職員を退避させる。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 封じ込め方法 : 清潔なショベルを使用して、ドライコンテナに物質を入れ、圧縮せずに覆い
ます。
浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い**

- 技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
眼との接触を避ける。
接触回避 : データなし
衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。
処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

- 安全な保管条件 : 乾燥した場所に保管すること。
食品、飲料、動物用の材からは離して保管すること。
安全な容器包装材料 : データなし
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**保護具**

- 手の保護具 : 保護手袋を着用すること
眼の保護具 : 安全眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|--------------------------|-------------------------|
| 物理状態 | : 固体 |
| 外観 | : 顆粒 |
| 色 | : 白っぽい色 |
| 臭い | : ほとんどなし |
| pH | : データなし |
| 融点 | : データなし |
| 凝固点 | : データなし |
| 沸点 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 自然発火点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 相対密度 | : データなし |
| 密度 | : 0.8 g/cm ³ |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 溶解度 | : 水に不溶。 |
| n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) | : データなし |
| 爆発限界 (vol %) | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------|
| 反応性 | : データなし |
| 化学的安定性 | : データなし |
| 危険有害反応可能性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : データなし |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報

| | |
|-----------|--|
| 急性毒性 (経口) | : 区分に該当しない |
| 急性毒性 (経皮) | : 区分に該当しない |
| 急性毒性 (吸入) | : 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト) |

| MIC ナメクジ退治 | |
|-------------|--------------|
| LD50 経口 ラット | > 5000 mg/kg |
| LD50 経皮 ラット | > 5000 mg/kg |

| | |
|------------------|----------|
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | : 分類できない |

| | |
|-----------------|----------|
| 呼吸器感作性 | : 分類できない |
| 皮膚感作性 | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 分類できない |
| 生殖毒性 | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 分類できない |
| 誤えん有害性 | : 分類できない |

12. 環境影響情報

生態毒性

| | |
|-----------------|--|
| 生態系 - 全般 | : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。 |
| 水生環境有害性 短期 (急性) | : 区分に該当しない |
| 水生環境有害性 長期 (慢性) | : 分類できない |

| MIC ナメクジ退治 | |
|-------------------|--------------------|
| LC50 - 魚 [1] | > 100 mg/l (ニジマス) |
| EC50 - 甲殻類 [1] | > 100 mg/l (オシジノコ) |
| EC50 72h - 藻類 [1] | > 100 mg/l (イカダモ) |

残留性・分解性

| MIC ナメクジ退治 | |
|------------|-------|
| 残留性・分解性 | データなし |

生体蓄積性

| MIC ナメクジ退治 | |
|------------|-------|
| 生体蓄積性 | データなし |

土壌中の移動性

| MIC ナメクジ退治 | |
|------------|-------|
| 土壌中の移動性 | データなし |

オゾン層への有害性

| | |
|-----------|----------|
| オゾン層への有害性 | : 分類できない |
|-----------|----------|

13. 廃棄上の注意

| | |
|-----------|---|
| 推奨製品/梱包処分 | : 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。 |
| 廃棄方法 | : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。 |

| | |
|----------|--|
| 環境影響情報 | : 残余廃棄物廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 |
| 汚染容器及び包装 | : 汚染容器及び包装汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |
| 地域の廃棄規則 | : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。 |
| 推奨下水処理 | : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。 |
| 追加情報 | : 空の容器を再利用しない。 |

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

| | |
|-------------------|-------|
| 国連番号(UN RTDG) | : 非該当 |
| 正式品名 (UN RTDG) | : 非該当 |
| 容器等級(UN RTDG) | : 非該当 |
| 輸送危険物分類 (UN RTDG) | : 非該当 |

国内規制

| | |
|--------|----------|
| その他の情報 | : 補足情報なし |
|--------|----------|

15. 適用法令

国内法令

| | |
|-----------------------|-----------------|
| 農薬取締法 | : 登録番号第 22511 号 |
| 労働安全衛生法 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) | : 非該当 |

16. その他の情報

| | |
|------|---|
| 参考文献 | : 長瀬産業株式会社 SDS-100332238_FERRAMOL_JA_1.0 作成日: 2024/09/13 |
| | : 注: 労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。 このデータシートの内容は、現時点で入手可能な参考文献および情報に基づいています。ただし、ここに記載されているデータや評価は情報提供を目的として作成されたものであり、保証を目的としたものではありません。 本 SDS は、Lisam 社の提供する「ExESS」により作成しており、主要な情報は当システム内のデータに基づいています。 《その他の情報源》 ・ 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)化学物質管理情報 ・ 日本ケミカルデータベース株式会社 ・ メーカーSDS。 |

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。